

日系損保として欧州大陸初のテレマティクス自動車保険発売

2018年8月6日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）の欧州現地法人である欧州あいおいニッセイ同和社は、2018年7月、ドイツにおいてテレマティクス自動車保険の販売を開始しました。欧州大陸におけるテレマティクス自動車保険の販売は日系損保で初めてとなります。

1. ドイツで新たに販売するテレマティクス自動車保険について

新型小型車（Aygo）のお客さま向けに、ドイツトヨタと連携した販売促進キャンペーンの一環として、テレマティクスサービスを付帯した専用自動車保険を発売しました。

本テレマティクス保険の特徴としては、お客さまに専用デバイスを取り付けて頂くことで（シガレットライターソケットへ差込）、①それによる事故抑止効果を反映した低廉な保険料を提供し、また②お客さまの運転挙動を分析したうえで専用アプリにより情報を還元するサービスを備えています。

なお、上記開発にあたっては、2015年3月に当社が買収した英国テレマティクス^{*1}自動車保険大手であるBox Innovation Group社のノウハウ・データを活用し、独自の保険料算定方式を採用。また車載デバイスからのデータ集約、分析、還元については、Box Innovation Group社が開発し所有しているITプラットフォームで行います。

2. 背景について

昨年、テレマティクス技術の進化に伴い、欧米を中心として自動車の走行データを活用した様々な商品やサービス提供が行われています。こうした潮流の中で当社は2015年3月に英国テレマティクス自動車保険の大手であるBox Innovation Group社を子会社化。英国においてテレマティクス自動車保険に参入しました。

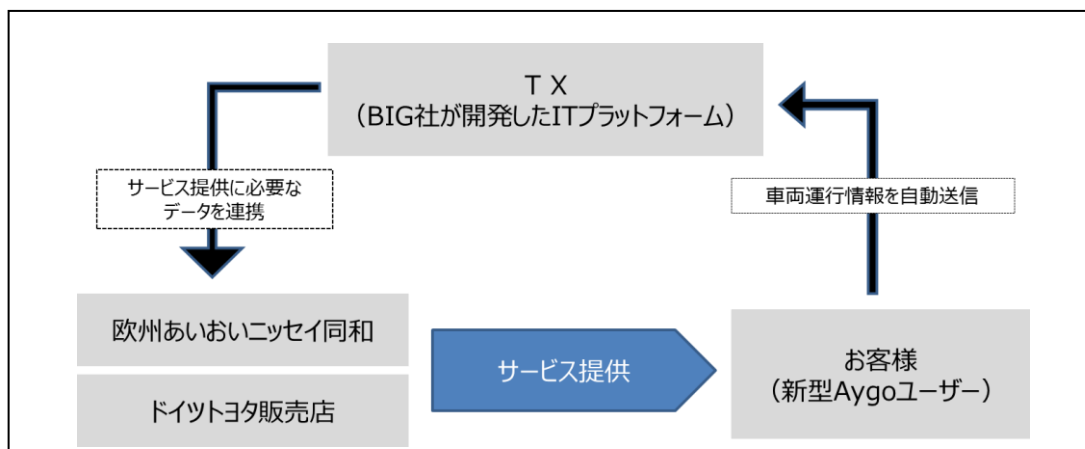
また、国内においては2004年に国内保険会社としては初めて実走行距離連動型自動車保険「PAYD」を発売し、2018年4月にはトヨタ自動車の最先端のテレマティクス技術で取得した車両運行情報^{*2}を保険料に反映する日本国内初の新商品「タフ・つながるクルマの保険」をトヨタ自動車と共同で開発するなど、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして保険商品・サービスを開発してきました。

今後、ドイツ以外の欧州大陸各国において、テレマティクス自動車保険の販売を行う予定です。当社は、国内外でテレマティクス技術を活用したサービスを提供することで、事故のないお客さまにも付加価値を提供し、安全・安心な「クルマ社会」の実現に貢献していきます。

^{*1} テレマティクスとは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語です。カーナビやGPS等の車載機と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供します。

^{*2} ご契約のお車から当社指定の車載機を通じて計測され、当社に送信された情報に基づく「走行距離」および「運転特性（速度超過・急アクセル・急ブレーキ）」をいいます。

【サービス提供イメージ】



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が共通した「持続可能な開発目標」です

主に貢献しているSDGs目標

